

安心と喜ばれる長寿社会を

7月22日、高齢社会における地域医療とまちづくりに取り組んでいる柏市の施策展開をしている柏市豊四季台団地をたずねました。柏市役所保健福祉部福祉政策室長の説明を受けました。

老朽化した団地の建替えが進む豊四季台団地。あわせて住民の高齢化も進み、介護と医療は直面している課題です。介護保険事業計画において在宅医療の推進を位置付け、柏の葉の東大の力強い協力を得、地元医師会の理解と協力を得て柏市が取り組んでいる具体的な計画は着々と進められています。

市町村が主体性を持ち、地域の医師会と連携して取り組みなければならぬ事がポイントです。

また高齢者の生きがい就業は大変参考になりました。

老朽化著しい乳児・児童施設に光を

7月23日会派で児童自立支援学校千葉県生実学校（千葉市中央区生実町）と千葉県乳児院（千葉市若葉区加曾利町）を視察しました。生実学校は家族や学校での育成・生活がむずかしい児童を入所させて施設内で生活し、施設内に設置されている、小学校・中学校の分教室で学校教育が行なわれています。

私達が行った時は、学校は夏休みに入り暑い午後でした。子ども達がプールでひたすら泳ぐ姿を目にしました。

現在、小学生4人、中学生25人、高校生相当15人が在籍しています。入所理由で最も多いものは窃盗、ついで性非行となっています。保護者の状況として母子家庭の子が52%というのが大変気にかかります。母子家庭の生活状況、経済状況は仕事に追われる母親、そして貧困が子どもにどのような影響を及ぼしているのかあらためて考えさせられました。

乳児院には1ヵ月未満から2歳までの家庭で養育することのできない乳児が入院しています。乳児院なので入院とされているようです。

入院理由で最も多いのは虐待です。多くは育児放棄とのこと。平成24年度における病児等への通院を要した項目を見ると障がい故の通院もありません。退院後の行先（平



生実学校内の児童の生活寮



乳児院前にて

休耕地を利用した都市型農業事業、植物栽培ユニット事業、学童保育事業、保育・子育て支援事業、生活支援・生活充実事業、福祉サービス事業等が取り組まれています。

シルバー人材センターとの連携はもちろん必要なものです。これからの高齢社会のモデルケースとして介護と地域医療の連携、そして生きがい就業は大変参考になりました。

常任委員会報告

商工労働部・企業庁の常任委員会からは総合企画・水道常任委員となります。

6月議会商工労働部関係では障がい者雇用と新たな工業団地整備について質問しました。

障がい者雇用の促進を

【質問】千葉県の法定雇用率過去5年間の状況はどうですか。

【答弁】以下の表の通りです。

年度	雇用率	全国順位
平成20年度	1.52%	38位
平成21年度	1.53%	45位
平成22年度	1.60%	40位
平成23年度	1.57%	38位
平成24年度	1.63%	36位

【質問】障がい者雇用の低迷が続いています。企業が法律で定められているのに障がい者を雇用しない一番の理由は何ですか。

【答弁】企業にアンケートを取った結果によると障がい者を雇うことがないので雇用の仕方や働き方がわからないとの理由が多い。

らないとの理由が多い。障がい者を雇用しない企業は、このままいくと継続して雇用しない状態が続くのではないかと考えます。企業の障がい者への理解不足、雇用せず違約金を払えばよいという風潮を放置しておけません。

4月から法定雇用率が上がりました。民間企業では1.8%から2%に。さらに従業員56人以上から50人以上にかわり適用企業が増えました。障がい者雇用には力をいれるよう強く要望しました。

なぜ工業団地の整備なのか

【質問】企業庁の袖ヶ浦椎の森、土地開発公社

地整備です。

143億8000万円で購入した土地、わずか4億2500万円です。

企業庁は商工労働部に袖ヶ浦椎の森の土地50・4ヘクタールを4億2500万円で購入しました。

【質問】いくらで買った土地を4億2500万円です。商工労働部に買ったのですか。

【答弁】平成5年から13年に買収した金額は143億8000万円。差額は139億円余り。

※企業庁は139億円余りを損したことになります。143億8000万円ものお金を投入し、工業団地として手をつけることもできなかった。あまりに先を見ない企業庁の甘い体質に驚きです。間もなく企業庁も役目が終わりますが、何か反省はしているのでしょうか？

保護者負担による

県立高校のエアコン設置

から見えるもの

熱中症が問題となる季節、はたして学校はどうなのでしょう。夏休みもあるし、あまりエアコンは必要ないのでないか、エアコン以外の方法はないのか、との思いもありましたが、現場の先生の声

を聞きました。とても暑くてたまらない、これが教室の状況です。

確かに今、エアコン設置が進んでいます。

県立高校125校中すでに82校が設置されています。

ち5校は公費負担、他は保護者負担で設置しました。エアコンのない学校は43校。一方、高校の中途退学者数を調べてみると全体的には言えませんが、エアコンのない学校は中途退学者が多い傾向があります。はたして今後、保護者の負担待ちでエアコン設置を進めていくべきでしょうか。県立学校の教育環境の整備は県がするべきです。